



# インタビュー まさちき

NPO法人海の森・山の森事務局  
豊田直之さん



【プロフィール】

港北区在住。水中撮影を中心に活動する冒険写真家。2012年に環境問題に取り組むNPO法人 海の森・山の森事務局を設立。自分で釣った魚の写真を集めた「釣魚図鑑」など、多数の著書あり。



プラごみバスターズ

最近小学校の総合学習のテーマに

海のプラごみやマイクロプラスチック問題をとり上げるクラスが増えてきています。学校内で話を聞いているだけでは他人事な子どもたちも、実際に海岸や川辺へ連れて行きごみ拾いをするとガラッと変わります。拾っても拾ってもごみが減らないのはなぜか。この問題をどうしたら解決できるか。子どもなりに考えたアクションをうまくつなげていくことが私の役割です。

子育て世代へメッセージを

私の子ども時代の新横浜周辺は田んぼだらけで田んぼに足を入れた感触や足が抜けなくなるとか、自然の中でのいろいろな体験をして育ちました。現代の横浜ではこのような経験ができる場所が身近にある人は少ないでしょうから、積極的にアウトドアのフィールドに子どもを連れ出してほしいですね。自然の怖さ、厳しさ、大切さなどを身に持っていていくことが必要だとも思います。こういう経験をしない子どもが大人になって環境問題を机上だけで議論したら地球は滅びるでしょう。ぜひ親子でアウトドアのイベントなどに参加して子どもと一緒に経験し、一緒に考えてほしいです。子どもたちが自らの力で未来の地球を切り開けるよう導いて行きましょう。

「環境出前授業もやっていますね」  
茅ヶ崎や城ヶ島の海岸、大岡川のゴミ拾いをしていましたが、コロナ禍はイベント的な活動が難しくなりました。しかし活動は止めたくなかったので役員3人で細々とごみ拾いを続けました。これがプラごみバスターズです。神奈川県海岸線435キロを歩いてごみの状況を調べてみようという1回のペースで丸3年やってきました。ごみが溜まりやすいエリアや行政によるごみ分類の違いなど、いろいろな気付きがあります。湯河原からスタートして現在横須賀市まで来ました。

「環境出前授業もやっていますね」

## 季節と暮らそう 夏のお届け便

「横浜市子ども植物園」より、季節の植物を紹介します。



種から育てよう  
**コスモス**

メキシコの高原が原産の一年草。でもすっかり日本の秋の風景になじんだ花となっています。日が短くなると花を咲かせる植物ですが、近年では改良されて、春に種子を播いて60日ほどの夏に咲く矮性の品種もあります。花色や花型もバラエティーに富みますので、スペースやお好みにあった品種を選んで楽しみましょう。種播きは4月から7月(高性種ほど遅めに播く)。プランターや地面に直接播くこともできます。20~30cmの間隔をあけて1カ所に数粒ずつ播きます。本葉が2枚程出たら間引き、最終的にはしっかりした苗を1本ずつ残します。日当たりと何より風通しが大好きです。土の過湿には弱いので注意しましょう。肥料は元肥を入れず、追肥で少しだけ与えるのがしっかりした株にそでてるコツです。

(緑の相談員・速水善浩)

【問い合わせ】 横浜市子ども植物園 入園無料  
南区六ツ川3-122 ☎045-741-1015 開園時間9:00~16:30

※園内で開催している子ども向けイベントをベイ★キッズLINEでお知らせ。LINE登録は4面を見てね。

## パパと遊ぼう!

よこはま子どもカレッジの「名物せんせい」  
自転車コース編

自転車指導員 **松永猛** 先生

自転車に補助輪を外して乗れるようになる「自転車初乗り教室」を主宰。これまでに教えた子どもは6年間で延べ6,000人以上。近年は大人向けの自転車教室も実施しており、こちらも人気とのこと。

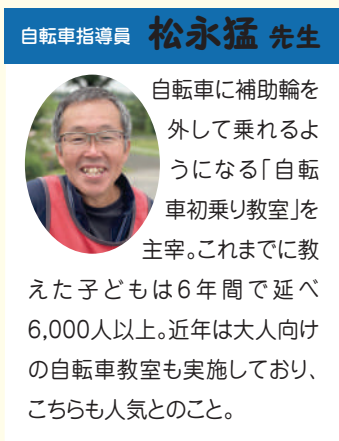
**Q.何がきっかけで自転車教室を始められたのですか?**  
実は自分も自転車に乗れるようになるのにも苦労したのですが、今の子どもたちも「練習場所がない」「練習時間がない」ということもあり、苦労していることを知りました。苦労した経験がある自分ならば「寄り添って一緒に練習してあげられるかも」と思ったのがきっかけです。

**Q. お父さん、お母さんに伝えたいことは何ですか?**  
子どもの成長にはとても個人差があります。すぐに自転車に乗れるようになる子もいれば、時間がかかる子もいます。でも、前向きに楽しく続けていけば誰でも必ず乗れるようになるんです。ただ中には、できないとすぐに「ダメだね」と言ってしまったり、諦めてしまったりする親御さんもいらっしゃいます。大変かもしれませんが、ぜひ粘り強く温かく見守ってあげて欲しいです。

**Q. 子どもが自転車に乗れない理由はなんですか?**  
一番多い理由は「怖い」です。スピードを出すのが怖い、自転車が倒れるのが怖いなど。なので教室では、この「怖い」を「怖くない」に変えることからスタートします。ペダルを外した状態で両足で漕いでスピードに慣れてもらいながら、必ず「褒める声かけ」をして子どもたちの気持ちを前向きにしていきます。「怖い」が「楽しい」になることが自転車に乗れるようになる第一歩です。



「よこはま子どもカレッジ」公式HP



## 身近でできるSDGs

このコーナーではSDGsの17の目標に向けて身近にできることを紹介していきます。今回は太陽の熱で調理するソーラークッカーを紹介します。



### ソーラークッカー



カレー味の野菜炒めのできあがり

ソーラークッカーは、太陽の熱で、食材を蒸し焼きにする調理道具です。本格的なアウトドアグッズとして販売されていたり、紙でできたコンパクトに持ち運びができるものがあったり、自作することも可能です。

使い方は、風の穏やかな天気の良い日に、ソーラークッカーを組み立てて、銀色のパラボラの中心部に、黒いアルミホイルとビニールや透明の容器で覆った食材を置き、陽の当たる場所に置くだけ。お芋をふかしたり、プリンを作ったり、生のお肉やお魚も、電気や火を使わずに調理できます。

マンションのベランダなど時間によって日当たりが変わる場所では、こまめに向きを調整します。

\*中心部は高温になるのでやけどに気をつけましょう!



こんなものが作れます。



ソーラークッカーの詳しい情報はこちら!

日本ソーラークッキング協会

ソーラークッキングについて専門的に研究している協会です。ホームページでいろいろな種類のソーラークッカーや調理例、注意点について紹介されています。



手作りソーラークッカーは、段ボールとアルミ箔で作るものや、牛乳パックとお菓子の袋で作るものなど、身近なもので作れます。親子でいっしょにソーラーのおやつ作り、楽しいですよ!



おすすめポイント

黒い鍋ややかんで、お湯を沸かすこともできるので災害時にも活躍するかも!



横浜のパパが発信!  
パパが子育てを楽しむためのコーナーです。

